

特集2

力強い第一歩を！

新たな時代を拓く 未来投資予算

平成31年度は、第5次岡谷市総合計画の初年度であり、将来都市像である「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けて、これまで積み重ねてきた成果を基盤として、将来のまちに多くの夢と希望を描くことができる確かなまちづくりを進めるとともに、新たな10年間のスタートにふさわしい力強い第一歩を踏み出すため、「新たな時代を拓く年」と位置づけました。

少子高齢化、人口減少という大きな課題に正面から立ち向かい、日々刻々と変化する社会経済情勢とそれに伴う諸課題に対して柔軟かつ的確に対応するため、各種施策、事業を積極果敢に展開していきます。

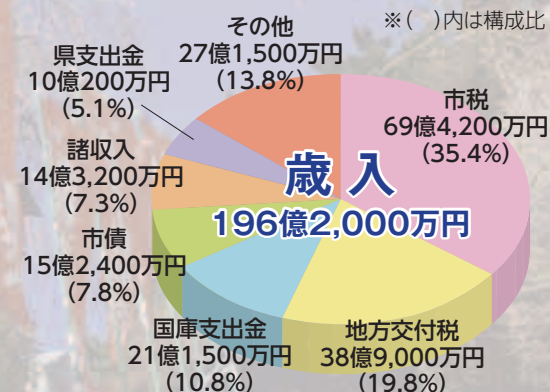
平成31年度予算

◆平成31年度予算一覧 ※前年度比較の△印は、減額を意味します。

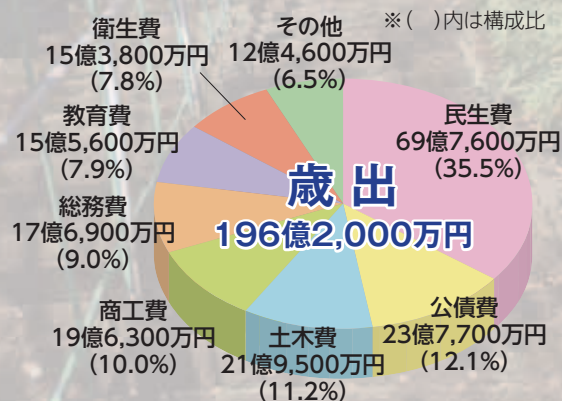
会 計 名	予 算 額	前年度比較
一 般 会 計	196億2,000万円	3億3,200万円
特別会計		
国民健康保険事業	45億8,820万円	△1億1,100万円
地域開発事業	3億7,820万円	△210万円
分収造林事業	1,590万円	400万円
霊園事業	1,790万円	△2,440万円
温泉事業	1,660万円	△2,250万円
後期高齢者医療事業	8億2,020万円	3,610万円
計	58億3,700万円	△1億1,990万円
湊財産区一般会計	160万円	50万円
企業会計		
水道事業	18億5,450万4千円	3億4,492万7千円
下水道事業	28億7,255万円	△2,821万9千円
病院事業	76億2,167万2千円	△2億8,842万9千円
計	123億4,872万6千円	2,827万9千円
合 計	378億732万6千円	2億4,087万9千円

※企業会計の金額は、収益的支出と資本的支出の合計です。

◆一般会計の歳入(市の収入)



◆一般会計の歳出(市の経費)



おもな事業と予算のあらまし

1. 子育て・教育環境の充実

子育て支援アプリ“げんきっずおかや”導入事業(新規)

65万4千円

妊娠、出産、子育てなど、必要な情報を配信しながら、妊娠期の母子の健診記録や出産後の成長記録のほか、予防接種や健康診断などの日程を手軽に管理できる母子健康手帳の機能を持ったスマートフォン・タブレット用の子育て支援アプリを導入する。

「おかやコドモテラス」こどもの居場所づくり

設置促進モデル事業

48万5千円

子どもの孤立を防ぎ、健やかな成長を支援するため、遊びを通じた学びの提供や学習支援、悩みごとへの相談支援、食事の提供など、一場所多役の子どもの居場所づくりを官民連携によるモデル事業として実施するほか、地域に立ち上がってきた民間団体の課題などを共有するネットワーク作りを進め、民間主体の取り組みを促進する。



産婦健康診査事業(新規)

364万円

産後うつなどの予防を図るため、産後2週間、産後1か月の出産後間もない時期の産婦が健康診査を受ける費用を負担することにより、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備する。

新西堀保育園・発達支援施設整備事業

2億1,470万円(うち財源留保 1億4,770万円)

保育環境の整備、保育サービスの充実を図るため、保育園整備計画に基づき、発達支援施設を併設する新西堀保育園の整備に向けて、平成31年度は既存建物などの解体、敷地内の道路整備、造成工事を行う。

岡谷東部中学校管理教室棟長寿命化大規模改修事業(新規)

2,300万円

子どもが安全で安心して学習できる環境づくりを進めるため、老朽化が著しい岡谷東部中学校の管理教室棟について、長寿命化大規模改修工事の実施設計を行う。

川岸小学校学童クラブ整備事業(新規)

700万円

市内小学校学童クラブのなかで最も登録児童が多く、教室も過密状態にあることから、児童の快適な学習環境の整備を図るため、学童クラブ室の拡張工事を行う。

就学援助拡充事業(拡充)

4,796万5千円

経済的理由により、就学が困難な児童・生徒の保護者の負担軽減を図るため、新入学学用品費などや学校給食費に対する就学援助費および特別支援教育就学奨励費を拡充する。

「やってみよう!おかやキッズラボ」事業(新規)

18万3千円

学習意欲の維持または高揚を図り、学力向上へつなげるため、夏休み期間中に、3公民館およびカルチャーセンターの4か所で、小学生を対象に教育総務課の教育支援主事、教員OBなどの地域人材を活用し、学習支援を行う。

対象者:小学生(1~3年生と4~6年生の2グループに分けて活動する)

内容:1日目…理科実験、2日目…学校の課題(宿題)の取組支援

岡谷子ども未来塾(放課後の中学生学習支援事業)(拡充)

150万1千円

苦手教科の解消、学習の習慣づけ、学習意欲の高揚を図るため、教員OBなどの地域人材を活用し、学習支援を行う。

対象者:中学2年生

人数:各校20名程度

回数:各校14回程度

科目:英語・数学



高校生まちづくり推進事業(新規)

30万2千円

市民総参加のまちづくりを推進するため、将来を担う高校生による「高校生まちづくり会議」を開催し、岡谷市のいまを知るとともに、岡谷市の将来を考え、自ら行動する機会を提供する。平成31年度は高校生によるまちづくりが活発な先進自治体を視察し、視察先の高校生との交流を通じて、今後のまちづくり会議の活性化や高校生の意識向上を図る。

2. 暮らしを支える生活基盤の整備

諏訪湖周サイクリングロード整備事業

1,510万円

「安全・快適」、「健康・スポーツ」、「観光」、「環境」を整備の基本方針として、諏訪地域に住み、働き、集うすべての人々が、身近な交通手段として自転車を安全で快適に利用できる環境整備を行う。平成31年度は市内管理区間のうち、下諏訪町境から約500mのアスファルト舗装工事などを実施する。



完成予想図

スマートIC整備事業

3,166万4千円

岡谷・諏訪IC周辺の交通量減少と観光拠点へのアクセス強化を図るため、諏訪湖SAのスマートICの整備に向け、アプローチ道路にかかる用地測量および詳細設計を実施する。

道水路維持補修事業

4億4,460万円

舗装の打換え、側溝改修など計画的かつ予防的な維持修繕に取り組むとともに、擁壁などの構造物の維持修繕を行うことにより、施設の長寿命化を図りつつ、安全で快適な道路環境を整備する。



2. 暮らしを支える生活基盤の整備 (続き)

道水路新設改良事業

3億6,998万円

幅員4m以上の生活道路整備を基本に、道路の新設、現道の拡幅、視距改良、交差点改良、道路側溝・水路等排水施設整備、舗装の改築などを実施し、安全で快適な道路環境を構築する。

民間建築物アスベスト飛散防止対策事業(新規) 900万円

アスベストの飛散による健康被害を未然に防止するため、民間建築物のアスベスト含有調査およびアスベストの除去にかかる費用の一部を補助する。

●アスベスト含有調査

対象建築物：県で作成中のアスベスト調査台帳に記載された建築物
補助率：10分の10 上限額25万円／棟

●アスベスト除去

対象建築物：上記と同様施設
補助額：3分の2 上限額800万円かつ3万3千円／㎡

岡谷市消防団防火衣整備事業(新規) 747万1千円

消防団員の火災防ぎよ活動時の身体の安全を確保するため、機能的で安全性の高い防火衣を各分団に6着ずつ配備する。



【福祉・健康づくり関係】

健康ポイント事業(新規)

131万7千円

健康寿命の延伸を図るため、市の健康に関する講演会の参加者やがん検診などの受診者を対象に市内商店街で利用できるおかぼんカードのポイントを付与し、市民の健康に対する意識啓発や健診受診率の向上につなげる。

【健康ポイント事業】

- 特定健診(後期高齢者健診)や人間ドックなどの受診者…【200ポイント】
- がん検診などの受診者…【50ポイント】
- 各種健康に関する講演会の参加者…【50ポイント】

成年後見支援センター事業

870万9千円

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人の生活課題や成年後見支援のニーズに対応するため、権利擁護全般に関する専門的な支援を行う「成年後見支援センター」を平成31年4月に諏訪湖ハイツへ開所する。



「こころ」と「いのち」のほっとサポート推進事業(自殺対策推進事業)(新規)

51万7千円

『市民一人ひとりが「こころ」と「いのち」を大切にし、ともに支えあい健やかに暮らせるまち』の実現をめざし、平成30年度に策定した岡谷市自殺対策計画に基づき、庁内に自殺対策本部を設置し、地域におけるネットワークを強化するとともに自殺対策を支える人材としてゲートキーパーの育成や住民向けの自殺防止の啓発講演会などを開催し、自殺防止対策の強化を図る。

骨髄バンクドナー助成事業(新規)

30万円

骨髄などの提供者(ドナー)の負担軽減とドナー登録の促進を図るため、ドナーとドナーが勤務する事業所などを対象に、助成金を交付する。

【骨髄バンクドナー助成金】

対象者：①骨髄・末梢血幹細胞を提供した時点で岡谷市に住民登録があるドナー

②上記ドナー(個人事業主を除く)が勤務する事業所

金額：①(ドナー) 骨髄などの提供のために入院および通院に要した日数1日あたり2万円(上限10日間)

②(事業所) ドナーが骨髄などの提供のために入院および通院に要した日数1日あたり1万円(上限10日間)

3. 力強い産業の確立

先端設備等導入計画認定事業

マンパワー事業

「生産性向上特別措置法」および市が策定する「導入促進基本計画」に基づき、市内企業が「先端設備等導入計画」を策定し、市から認定を受けた場合に、新たな設備投資に係る固定資産税を3年間ゼロとする特例措置を講じ、中小企業の設備投資などに対する支援を実施する。

女性雇用促進就業環境整備支援事業(新規) 135万円

女性の雇用促進や職域拡大、定着率の向上を図るため、市内企業が行う女性の働きやすい環境整備に対する経費の一部を助成する。



●ハード事業

女性専用のトイレ・更衣室・休憩室にかかる新設、改修、増設費用
補助率：2分の1 限度額15万円／1社当たり(予算計上7社分)

●ソフト事業

女性従業員が働きやすい職場に資する社内研修会の開催、または外部研修会への派遣、就業規則の変更などにかかる費用
補助率：2分の1 限度額3万円／1社当たり(予算計上10社分)

展示会出展事業(拡充)

1,395万3千円

市内企業の受注開拓と販路拡大を図るため、幅広い分野の展示会に

おいて市がブースを確保し、自費での出展が難しい個人企業や中小企業の製品を共同展示するほか、市内企業が持つ技術力のPRを行い、新たな顧客の確保に努める。平成31年度は、名古屋、大阪で開催される展示会の出展小間数を現在の2小間から3小間へ増やし、中京圏・関西圏への積極的な販路開拓を実施する。

事業承継支援事業(新規)

120万円

市内企業経営者の高齢化が進み、将来的な廃業を検討する企業が増加してきていることから、市内企業の事業・技術の承継を図るため、事業承継やM&Aの実施にかかる費用の一部を補助するとともに、県の融資制度を利用し、事業承継に必要な資金を借り入れた場合に利子の一部を補給する。

【事業承継補助金】

以下の費用について、補助対象経費の2分の1 上限額30万円／1社

●事業承継…マッチング登録料や仲介手数料など

●M&A…仲介委託など(仲介手数料、調査委託料など)

【事業承継資金融資利子補給制度】

事業承継の際に必要な資金を長野県中小企業融資制度「信州創生推進資金」を利用した場合、利子分(貸付利率年1.1%)を1年間全額補助する。30万円×2社 ※運転・設備資金6,000万円の借入を想定。

3. 力強い産業の確立（続き）

若年人材確保事業

129万円

県外大学などへ進学した学生に対し、年末企業研究会、市内企業見学会などへの参加ツアーを開催し、学生の就職活動を段階的にサポートすることで若年人材の確保を図る。また、大学生などのインターシップを促進するため、実施した企業の受け入れに必要な経費を補助する。



商業等振興補助金（拡充）

620万2千円

空き店舗の改修、既存店舗の改修および賃借料の助成を行い、まちなかの賑わい創出と商店街の活性化を図る。

●空き店舗改修補助

対象経費：100万円を超える部分
補助率：対象経費の2分の1以内
上限額：50万円 予算計上額：3件分 150万円

●既存店舗改修補助

対象経費：100万円を超える部分
補助率：対象経費の2分の1以内
上限額：50万円 予算計上額：2件分 100万円

●賃借料補助

補助率：対象経費の3分の1以内 上限額：27万円（2年間）
予算計上額：16件分（1年目8件・2年目8件） 340万2千円

●小売業者個店診断補助金

補助率：対象経費の2分の1以内 上限額：10万円
予算計上額：3件分 30万円
※5年以内に補助実績のある店舗も申請可とする。

地域おこし協力隊ブランド推進事業（新規） 1,051万8千円

岡谷ブランドの核となる「オール岡谷産のシルク製品」の確立や岡谷ブランドブックのアクションプランを推進するため、地域力強化の担い手となる人材を確保し、養蚕農家・宮坂製糸所・岡谷絹工房を中心に地域協力活動に携わるなかで、岡谷市への定住・定着を図る。



蚕糸博物館開館5周年記念事業（新規） 436万1千円

岡谷蚕糸博物館開館5周年を記念して、ブライダルファッションデザイナーの桂由美氏を招き、パネルディスカッションやファッションショーなどを開催するとともに、桂由美デザインによる和洋のシルクドレス展示会を行い、シルクの文化を広く伝え、市民のシルクのまちづくりに対する意識の醸成を図る。

松くい虫防除対策事業（新規）

406万1千円

市内における松林を松くい虫被害から守るため、早期発見・早期駆除を第一に監視の強化を図るとともに、被害防止を目的とした薬剤の購入にかかる経費の一部を補助する。

●薬剤の購入に係る補助

対象経費：薬剤の購入に要する経費
補助率：対象経費の2分の1以内 上限額：10万円
予算計上額：薬剤散布剤 アカマツ10本分 5万円
樹幹注入剤 アカマツ75本分 45万円 合計50万円

就業移住等促進支援事業（新規） 452万円（うち財源留保400万円）

岡谷市への移住および定住の促進を図るため、首都圏などで開催される「ふるさと回帰フェア」をはじめとした移住・定住関係のイベントなどにおいて本市の情報発信を行うとともに、移住希望者などに対して本市の魅力を直に感じてもらうため、本市を訪れるための費用のほか、市内宿泊施設の利用に係る費用の一部について助成を行う。また、一定の条件を満たした移住者に対しては、国の「移住就業・起業支援事業（地方創生推進交付金事業）」を活用した助成を行う。

そのほか

縄文時代復元家屋設置・活用事業（新規） 52万2千円

縄文時代に関する情報を発信するため、縄文時代の家屋の復元作業を行うワークショップを開催するとともに、復元された家屋を美術考古館の2階体験学習室に展示する。

スポーツ&健康 高齢者運動促進事業（新規） 5万円

市民ひとり1スポーツの実現に向け、高齢者がスポーツに取り組みやすい環境を整備するため、年4回市民総合体育館を無料開放する『元気いきいき』岡谷シニアスポーツデーを設けるとともに、指定管理者であるシンコースポーツ職員をスポーツアドバイザーとして配置し、用具、施設の案内やスポーツのアドバイスを併せて行う。また、健康推進課の「栄養とお口の相談室」などを同時開催し、健康に対する意識の向上を図る。



公衆無線LAN環境整備事業（新規）

50万円

公共施設利用者に対するサービス向上を図るため、市立岡谷図書館内に公衆無線LAN環境を整備する。

ホストタウンプログラム推進事業（新規） 267万8千円

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた機運を醸成し、スポーツの振興や国際交流、多文化共生社会の実現を推進するため、カナダを相手国としたホストタウンプログラムを実施する。

【ホストタウンプログラムの主な内容】

- 大会参加国・地域の関係者との交流
- 日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流
- スポーツの振興、教育文化の向上および共生社会の実現を図る取り組み



問合せ●企画課（内線1521）・財政課（内線1531）